（一）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月28日 運輸省特別扱承認第238號　いわき民報　夕刊　昭和24年10月22日（土曜日）　第1054號

いわき民報

發行所 平市田町48 電381.176 いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

神經痛 婦人病 外傷性諸障害の名湯
常磐線湯本驛下車 磐崎村上湯長谷
うばの湯

基本的な協定成立
細部は專門委員會で審議
賃金團体交渉

連盟對炭勞との第七回賃金交渉は二十日午後一時から平市勞働會館に開き連盟側小島專務理事から炭勞側の八項目を條件とする再提示案に對する態度を書面を以つて解答、炭勞側では別室會議を開き檢討する等種々協議した結果

第一項の『賃金は生活を主條件として山の支拂い能力を考慮して決める』の件は抽象的論議をしても容易に纏まらないから保留する、第二項の『支拂能力の基準は一人一カ月當りの出炭總カロリーによつて決める』との炭勞案に對し連盟側では『現在の市況では假令總カロリーが同一でも平均カロリーが五千カロリーを下廻る場合收入面に格段の相違があるから支拂能力の基準は山の平均カロリー及一人一カ月當り送炭可能總カロリー（山炭、給與炭、自家發電所用炭を除く）により區分する』との主張で折合わず同問題は双方の專門委員會で檢討の上團交決定することにし、第三項の生産手當の件も委員會一任とし、その他は協定期間は十二月三十一日迄、基準外賃金の率は交渉範圍外につき削除する、女子及十八才未滿男子の賃金については各山の實情により決定する等で大体基本的協定が成立、問題は專門委員會今後の成行きが注目されて來たが二十二日第一回の委員會を開くこと（場所未定）を決め午後四時半交渉を打切つた

早場米供出の不良に焦慮
供出率は僅かに七パーセント

停滞狀態にある郡下の早場米供出は悪天候のためかその後も依然足踏みを續けている狀態なので縣ではこのまゝ放置すれば十月三十日迄の早場米供出奬勵金の恩恵に浴するものが一部の農家に限られるため供出期間延長など縣から中央に陳情する模様であるが平食糧事務所では十五日現在で割當八千百九十四俵に對し僅かに出たものが五百九十三俵七%の低率であり完遂は困難であるため對策に腐心しているがとり敢ず此の分でいけば割當に對し半數の供出も難しいと見て供出奬勵金の期限を十五日迄に延長した場合と三十日迄の供出見込數量を次の如く豫想して見た

◇十月三十日迄三千八百四十一俵◇十一月十日迄千八百俵計五千六百四十一俵

この數字はあくまでも見込數量で半數まで漕ぎつければ良い方だと心細い見透しをつけている、この原因は昨年より稲付けが一週間遅れておりその上活着が遅れているためも幾分影響しておるが、先づ天候が第一の原因でその上検査規格が嚴格になつて來て乾燥點十義になつて來ている點もあげられている、なお今年はこの早場米の供出遅延で一部から遅配缺配があるのではないかとの聲があるが古米が充分保存してある上近く會津から早場米が入荷するので消費者に心配をかけるようなことはないと同事務所では語つた

定例市會
廿八日に變更

平市の定例市會は二十九日の豫定であつたが繰上げて二十八日午後一時より公會堂日本間に開くことになつた、提出議案は追加豫算である

内郷定例町會
廿四日から

内郷町では十月定例町會を二十四日から開き町税附課税の決定、町立圖書館の設置並びに管理條例などを審議するほか公民館運營審議會委員三名の選擧を行う

修正所得の申告で
悲喜劇續出
金詰りの税金旋風

所得税修正申告は本月一杯迄となつているが、平税務署では十八日から二十日迄の三日間、平市内の修正增額申告を必要と認めた約四百名の人達の來署を求め、權衡調査によるがい觀、同種業者間の均衡經濟資料とか、第三者通報等による間接資料により、豫め署に於て豫定申告書を作成、この書面調査によつて呼出人と膝付き合せ深刻なかけひきを演じた、この三日間を通じ一日平均百二十人位つめかけた、『こんな調査は當てにならない』と激こうして怒鳴る者もあれば、子供を背負つて子供を連れた年配のおかみさん『こんなに增額はしていません、配給ものとるのに精一杯です』と泣乍らに嘆願すれば親泣く顔にたまげて子供も泣き出すという始末に署員も手古摺る騒ぎ、これらの人達も最後には捺印してしぶく歸るといつた狀態、呼出された人達は平均四割稿の增額となつており多くて三倍、中には親子二人稼ぎの理髪屋さん五万円の申告で呼出しがあり十万円と修正され『この金詰りにそれはとんでもない客が一日どれだけ入るか勝手持參で調査してくれ』と腕まくりで詰するものも現れるといつた税金旋風、金詰り旋風の悲劇が展開された

高橋直税課主任談　修正申告は正直者が馬鹿をみない納税制度を確立する爲に、署で公平に調査し申告の少かつた者に對して修正させるもので、所得が申告と異つた場合は自主的に修正しなければならない、呼出ししても中には署員を誤魔化そうとする人達もいるが、署員は大体なれている、今度の場合修正決定となつても所得に變化があれば署に來て更正することが大切だ

係員を町村へ

平税務署では二十一日から二十九日迄の九日かんに亘り郡下各町村の所得税修正申告調査に係員十四名づつ連日出張する

綜合病院管理問題
依然町村長會で足踏み

石城町村長會議は二十日午前十時より大野村役場に開き内郷町御厩地内にある炭礦綜合病院の經營引受けについて協議した結果、更に研究の上最後的決定を見ることに申合せたが一週間以内に何れかに決る模様である、なお二十三日の町村吏員体育大會の席上表彰する優良吏員十名を決めた

米十四俵を不正受配
犯人は元朝鮮巡査

勿來町大字窪田字町通元朝鮮巡査無職照井徴爲（六〇）は昭和二十二年十一月二十八日から本年の十月四日まで勿來、川部、錦の各食糧公團出張所管内に數名の幽靈人口を作り主食米換算十四俵の不正受配を受け他人に轉賣していたことが判り二十日勿來町署に捕まつた

箕輪に破藏
蒲團等盗難

箕輪村大字高野字渡邊農業高萩源藏さん（七三）方では二十日夜土藏を破られ蒲團四組葉煙草六貫目等を盗まれ平地區署に屆け出た

丸江デパート 荒さる

平市田町丸江デパート（責任者江尻貢四郎氏）では二十日午後十時ころから二十一日午前一時ころにかけ裏戸口を小刀様もので五寸四方にきりぬかれ、店内の毛糸約二十ポンド（時價三万円相當）毛糸セーター約七枚（時價七千円相當）がぬすまれた

共謀で窃盗
主犯は逃走

好間村生れ住所不定無職鈴木正男（二二）双葉郡長塚町生れ同野村治郎（二〇）の兩名は主犯の某と共謀の上十八日午後一時頃箕輪村大字大利農業大槻正明さん（四七）方の隱居宅に空巣に入り衣類二十一點時價二万四千円相當を盗んだことが鈴木が人を仲介して盗品を内郷町の某古物商に賣り込みに來た所から判り十九日夕方好間村で内郷町署員に捕まつた、なお主犯の某は目下逃走中

山田村の殺人
迷宮入り

（昨報）植田地區署で指名手配の後逮捕した湯本町大字水ノ谷字瀧ノ尾飯場植田文治方土工中村榮太郎（二五）はその後植田地區署で取調べ中であつたが何等の參考事項も得られず二十日銃砲等所持禁止令違反で送検した、これで山田村の殺人事件は迷宮入りの色漸く濃くなつた模様である

精米所から米を騙取
女白浪、情夫に貢ぐ

平自治署では二十日午後五時ころ住所不定無職上原ケイ子（二二）を市内精米所荒しの窃盗容疑者として逮捕した

此の女は去る八日市内才槌小路右松精米所から依託人の配給米十二キロを騙取、十二日には市内梅カ町第二農協組精米所から市内槻町日雇業小宮喜八郎さんの配給米七升を『すぐ精米出來ないのでは』と素知らぬ顔で持ち去り、十七日には南町坂本精米所から十五丁目材木商高田さんのあづけておいた一斗の精米を女中と称して騙取、十八日には古鍛治町久保木精米所から鍛治町無職太田マサノさんの依託した一斗を混雑のまぎれに持ち出したもので、このほか數件の余罪がある、ケイ子は舊城跡三一の親元で情夫と同居していたが親と折合わず先月家出したもので姙娠六カ月の身重で情夫に貢いでいた

民生委例會
廿七日開く

平市民生委員十月定例會は二十七日午後一時から公會堂日本間に開き生活補助者の決定などについて協議する

藤原博士の講演會
あす磐高で

磐高PTAでは二十二日前東京中央氣象台長藤原咲平博士を招き『氣象と生活』に關する講演會を磐高講堂で開く、又二十三日には映畫評論家津村秀夫氏を招き『映畫』について講演會及び座談會を開くことになつた、一般の來聽を歡迎している

電力消費量

電力消費量のバランスがとれているので二十一日夜は停電がない模様である

生活懇話會
明夕開く

生活懇話會十月例會は明廿三日夜七時から大町諸橋啓一郎氏宅で開く

教組の體育大會

教組平支部の体育大會は二十二日午前九時から磐女高校グランドで開く

女の羽織盗む

平市六丁目一日雇業安齋彌太郎（二二）は二十一日午前九時半ころ平自治署に窃盗容疑者として捕まつた、十月下旬ころ立町事務員緑川あい子さんの女物羽織一枚と衣料切符をぬすんだもの

突如大あばれ
捕えて見れば氣狂男

二十日午後三時頃平驛ホームで四十才位の男が突然理由なしに二三名の乗客を毆り更に巡視中の平鐵道公安官にも暴力を働いて來たので一時大騒となつたが漸く取押え平鐵道公安室で取調べたところ、この男は勿來町關田無職佐藤幸吉（四〇）で精神異狀者と判つた

高校新人野球 リーグ戰
あす磐高球場

平市内高等學校新人野球リーグ戰は二十二日磐高グランドで行われるが組合せ次の通り（カッコ内は開始時間）

磐高—平商高（九時半）
平工高—磐高（正午）
平商高—平工高（午後一時半）

高杉氏榮轉

平保健所藥務係高杉照久氏は九月三十日付で三春保健所總務課長に榮轉、後任は縣の技師佐藤光雄氏

就職の狀況
今夕放送

『平—郡山電話通信第三報』は二十一日夜六時三十分よりJOCP北村アナと遠藤福島民報平支社長とが『最近の就職狀況について』と題して行う

天氣予報 廿一日

【今晩】北寄りの風、晴れたり曇つたりの天氣、悪くすると一時小雨がある
【明日】北寄りの風、晴時々曇り、後曇りとなる、海上は大体おだやか

故城十郎 葬儀の際はお忙しいところ御燒香下されその上鄭重な御香奠を頂きまして誠に有難く御座いました、亡父もさだめし喜んだことと存じます甚だ失禮で御座いますが紙上を以つて御挨拶申上げます

昭和二十四年十月二十一日
小名濱町御殿後三八
嗣子 城小五郎
親戚總代 近藤利兵衛

父馬目安一儀（元平製氷株式會社技師兼小名濱營業所長）去る十二日勤務地千葉市に於て急病死致し遺骨を十四日平市菩提院に安置致しました生前の御交誼を深謝致し乍略儀紙上を以て御知らせ申上げます
就きましては十月二十五日午後一時より二時まで平市古鍛治町菩提院に於て告別式相營みます

昭和二十四年十月二十一日
小名濱町船引場三四
喪主 馬目一
親戚總代 馬目智夫 山野邊鶴次郎
友人總代 水野政次郎 山野邊湯

弘進 三馬弘進
アサヒ 地下足袋 布靴類
弘進 ゴム靴類 合羽類 其他
平地區商業協同組合
協力 濱三郡地區商業協同組合

銘木
ベニヤ板各種
床柱天井板
建築木材一式
織田銘木店
平市一丁目二五
電話（平）店 四六〇五 工場 二三五

綿と蒲團
諸官公廳御用達
平市新川町 電四二三番
鈴木製綿店
工場 平市古鍛治町一八
◇打綿はお電話下されば參上致します

開業
明るく氣分の良い旅館を開業致しました
何卒宜敷御引立を御願い致します
宴會、會合、商談等にも是非御利用下さい
旅館 憩館
平市白銀町（驛前）
高柳病院隣 電一一二

公 專門の靴店

男子短靴	特級	2.130円
同	1級	1.529円
同	2級	1.236円
婦人靴特級（中ヒール）		1.821円
同	1級	1.313円
子供靴（6.7.8才用）		868円
同（3.4.5才用）		590円

◇修理ハ格安敏速ニ致シマス
平三 菊一靴店
電446番

リコールの成立はほぼ確定
第二段階に入った小名濱を探る

小名濱町の四町議リコール署名運動は十四日に終り十七日同町選擧監理委員會に提出し同委員會では十八日から選擧人名簿との照合を始め二十七日頃までには終了しリコールの成立が確定することになった、こん度のリコール署名數は有權者一万二千四百三十四名の三分の一に當る法定數四千百四十五に對し二千百七十九名超過した六千三百二十四名で所要日數は十五日間となってる、うちこの中には相當の無效があるものと見られているが然しリコールの成立はほぼ決定的となった、以下は第二段階に入った小名濱町のリコール運動の動きである(伊藤)

○…こん度のリコールで示した小野幸次郎君らを中心とする革新民主同盟の青年たちの熱意は大いに一部から賛議されている、それは四人の大ものを向うに廻しリコールの署名を一應達成出來得たからである、殊に小野(幸)君は名譽と信用毀損で撤回告發されながらも依然四町議の罪狀(?)をどんどん發表している遣りは慥かに"愚人"には出來得ない業であった、街のスズメは彼の蔭には黑幕の人がいると指摘しているがそれは彼の"强氣"が相當のものであったしまた豫想外に署名がどんどん進んだからであろう 勿論曾玉川分村派や飯塚町議除名について反感をもっていた人達が相當力を入れていたためでまたいままでの行がかりで港灣運送會社に好感を持つ人達も一擧にこのリコール運に共鳴したためであることは確實である

○…このリコール戰タケナワのころひょっこり會津の山の中から中野寅吉氏が革新民主同盟側にやって來て又ひょっこりとおとなしく歸って行った中野氏は同盟側の顧問になっていると云う噂もあるが『パン寅』いよいよ小名濱でパン聲を擧げるのかと思っていたのに案外おとなしく歸ったので色色と批評の噂がかえって亂れ飛んだいづれにしても『こんどのリコールは困ったものだ』とする聲が町のところどころで聞くようになったのは署名運動が相當進んでからのことである、小名濱にとっては重要な問題が山積している、これを處理することが先決でリコールなどしないで濟むなら何んとかしたいと云うのである、丁度十八日ごろ革新民主同盟の小野幸次郎君がリコールの對象となった鈴木正氏らに對し『リコールについて四町議と立會演說をしよう』と申入れ斷られているがその折に小野(幸)君は鈴木町議に對し『私は貴方と金澤町議の二人をリコールしようとは思っていなかったのだが町民大會の席上金澤氏が反對演說を始めたのでリコールの對象としたのだ』と云っているそうだがこう云う點から見ても小野(幸)君はまだ純(?)だとも云える

○…リコールの調停氣運が濃厚に出たのは十九日開いた區長會議である、この際同町の區長が立ってリコールの仲裁をやろうと云うのである、この會議に於ける發言で目立ったものは二つあった

その一つは分村派の指導をやった鈴木一男氏の發言である、彼は仲裁案として『先づ四町議の即時辭職、それが不可能の場合は町長が議會を解散させよ』と云うにある、勿論こんな調定案で通るはずもないがこれを中心として論議した、その次ぎは汐留區長の善方長作氏の發言による『役場敷地の解約』である、これは小野義一氏から買った役場の敷地と役場から小野氏に交換條件として賣った登記所の土地をかい約してこん回のリコールの癌となった問題から解決して行けば良いと云うにある

結局同區長會議は『調停に入いるには時期尚早である』と云う理由で調停役を買って出ないことになったがまた同會議の席上、小野作太郎氏は『三町議は時期を見てやめてもよいと云うことを告げた』と發言している

四町議のうちの三町議が若し革新民主同盟が不純な理由でリコールをやったと云う聲明書を出せばリコール騷ぎをさせた不德を謝して適當な時に町議を辭めても良いと云うにあるらしいがこれは全然出來ない相談であることは勿論である

○…革新民主同盟側では『町民大會の名によって始まったリコールはあくまで完遂する』といい、また樋口町長は『小野(務)氏らは正當な理由があるならリコールを待つまでもなく辭めると云っており私としては婦人會、青年會等が動くことを希望していたがそれも不可能になったようだ町長不信任案を出されたなら兎角現在のままでは町議會を解散するようなことは出來ない』と云っている、結局このままリコールに突入することになったわけである

○…リコールをするにはキメ手などなくとも良いはずだしその理由の如何を問わず出來るものだ…と革新民主同盟側では云っている、勿論その通りでキメ手を出なくとも良いというならそれ迄である、然し町民の代表である町議の資格を奪うにはそれ相當の理由がなくてはならないはずである、ただ民主主義、自由主義を履違えた運動であるというようにいわれないだけの重要な『どうしても町議の地位からリコールする』だけのキメ手を出して欲しいという聲が町民の中にあることだけは事實である、今までに示した理由だけで澤山ではないかというが如きは甚だ滿足が行けないというのである、革民同盟の飯塚仁一氏の話によると近くその"新事實"を出したいというがその發表を特に待つものであるが遺憾ながらいままでの理由では個人的なものに重點が置かれた嫌があり"公人"としての罪狀は根據が薄いようである(四町議にどうこういわせないだけのものを出して欲しいという聲が大きいそうでないと町民が迷うからだという)

○…リコールのマナ板にのせられた四氏は何れも早い審判を下して貰いたいといっている、町民としても早くこの騷ぎを解消したい氣持で一杯である、そのうちイワシやサンマがどんどん揚り出すと人人はリコールなどに眼もくれず商賣商賣で魚市場に行って仕舞うことになる

屋外廣告は許可必要
來月から實施、注意を喚起

來月一日より屋がい廣告物條例が施行となりどんな廣告物でも屋がいに揭示する場合は土木監督所に申請して許可を受けなければならなくなったが、平土木監督所では次の如く關係者へ要望している、なおこの條例が適用になるのは平市と稙田、鄙、勿來、磐城、江名、小名濱、湯本、內鄕、四倉の九町で他の各村は該當しない

△形狀面積色彩意匠その他の表示の方法が著しく美觀風致を害するおそれある廣告物を揭示する物件を表示し又は設置することができない

△公衆に對し危害を及ぼすおそれある廣告物又は廣告物を揭出する物件を設置することができない

△新聞紙の廣告物は絕對に許可しない

△申請書は二部提出し(附近見取圖土地承諾書)をそえ許可の申請をすること

△許可期限後更に繼續して廣告物を表示し又は廣告物を揭出する物件を設置しておこうとするときは期かん滿了の前日迄に知事の許可を受けなければならない

△廣告物又はこれを揭示する物件の設置は必要な工事を完了したときは管理者はこの旨を速かに知事に屆出なければならない

△許可期かんが滿了したときは管理者は五日以內に廣告物又はこれを揭示する物件を除去しなければならない許可を取消した時も同樣とする、前項の除去したときは五日以內にその旨を知事に屆出なければならない

△本條例施行以前より表示されている廣告物の取扱いに對しては本條例施行の日より二カ月以內に(十二月三十一日限り)新に許可を受けなければならない

△若しこの規則に違反した場合は五萬円以下の罰金に處せられる

クレー射擊
廿三日幕內で大會

常磐クレー俱樂部では秋のレクリ週間參加行事として同俱樂部主催平市レクリ協會後援で來る二十三日午前十時より平市幕內地內夏井川河原でクレー射擊大會を開く

獵友會支部の役員會
廿五日開く

十一月一日解禁をひかえて縣獵友會平支部では來る二十五日午前十時より平市翠樓上に役員會を開き本年度狩獵に關して協議することになった

狩獵期は十一月一日より翌年二月末日迄、雉山鳥は十一月十五日より一月十五日迄の二カ月乃至四カ月の短期間である上に稅金が千八百円それに附加稅が加算されるほか火藥使用手數として三百円を徵收されるので金づまりの折柄免許下附願者も減るものと見られる

鈴木文史朗氏講演會
來月四日と決る

二十一日と豫定されたリーダースダイジェスト日本語版編集長鈴木文史朗氏の講演會は來月四日午後六時から公會堂と決定、講演一時間の後一時間の座談會が行われる

兩君の辯論
來月四日放送

炭勞全國辯論大會は去る二日山口縣宇部市にひらかれたが東部支部の代表青天目淸(磐崎坑)さんは四等、三浦淸一(常磐製作)さんは五等であった、なお兩君の辯論は錄音され十一月四日午後八時から縣民の聲に放送される

サツマ泥を逮捕

仙台市生れ住所不定無職遠藤重次(四〇)は十九日午後三時半頃內鄕町大字綴字板宮地內の甘藷畑から甘藷五貫目程を盜み逃げる途中現行犯として內鄕町署員に捕まった

捕物實話 怪盜小松三治 (二)

喜久地寒

ここに佐野屋旅館の主人、山本武賴さんだけは、町から快男子とか、名物男とか、いわれるだけあって、流石に落ちつき拂っていた。

『泥棒の野郎、俺の處にだけはこれまい、これだけの泥棒だ、山本武賴の何者だ位は知っているよ。』

その武賴さんの二階座敷に正月早早、ゆうゆうと入って お產手傳いに來ていた妻君の妹を連れて、溫泉湯治としゃれ込んでいた東京のお客の、枕元から衣類金品を殘らず持って行って、二人を丸裸にしてしまった。

『そんな事情ちゃ、家から旅費を取り寄せるわけにもいきますめえ、ようござんす私の不注意からです。全部辨償しやしょう。』

武賴さん、は丸裸になって震えている二人に、千円束をポーンと投げ出して、くれてやった。

『俺も知られえ泥棒だ、土地のものぢやあるまい。』

武賴さんは二人の刑事にこのように話していたが、泥棒に入られた口惜さに顏を眞赤に染めていた。

これが怪盜の被害のあらましであった。

これらの事件は、二十余名の刑事や、巡査が湯本町の要所に張込んで警戒しているその中に潛入して、ゆうゆうとやってのけたのだから、神技に近い怪盜といわなければならなかった。

一渡り溫泉旅館を荒し終った怪盜は、今度は、商店といわず、素人家といわず、場所を嫌わず時には、先に一度入って荒した溫泉宿に又入って荒すというような、太膽不敵な振舞に變ってきた。

その頃から、町の防營團は渡邊團長指揮の下に、二百余名の團員を繰り出して、警戒を始めた。

町の隣組も、防空頭巾を被って提灯を下げた異樣な恰好で、拍子木を、チャンチャン叩きながら深夜の町に、怪盜警戒に乘り出した。

警防團員が、金棒を引摺りながら町を流して歩くと、百余りの隣組がチャンチャンと甲高い拍子木の音を立てながら小さな路地裏から各戶の裏口まで警戒して步いた。

金棒を、ギャンと二突き突いてギャラギャラと引摺る音や東西南北から聞えてくる拍子木の音が湯の町の觀音山に突き當って、そいつが、又町に響き返してくるので、深夜の溫泉町湯本は賑かというか、騷いというか、大變な騷ぎであった。

刑事は又、それらの自警團と別に軒下から、軒下へと、暗闇を求めて縫うように密行しながら警戒しているのであった。

だが、怪盜の出沒はやまなかった。

朝になると、きまって『昨夜私の處でもやられましたよ』といって駐在所に盜難の被害が屆出られて來た。

この水も洩さぬ警戒網を、巧に出沒して荒し廻っている怪盜の行動には口惜しいなどという感情を越えて、偉え、痛快だと彼に賞讚の辭をさえ送りたいような氣持さえ起きてくるほどであった。

一月も半を過ぎる頃から、所轄T署の威信問題が云々されるようになった。

岡出ミルクプラント特製
バター二〇三圓
1/2ポンド 公定價格
市內主要食料品店にてお買求下さい

タイヤ・チューブの豫約は
十月二十五日より十一月七日迄です
優秀な品を自由に選擇出來ます
フタバ商會
平市新川町郵便局前

◇移轉お知せ◇
失業救濟 社員を求む
男女を不問
第一生命平支部
平市南町71(電320)

お茶とお菓子
酒と洋酒
ニュー・ピンク
平市三田小路

良い茶
名山の
ふもとに葉茶屋
樂るなり
茶舖 山登園
平市大町電五三〇

眼科
安田醫院
平市紺屋町五一
電呼 九五四番

食パン 乾パン
ビスケット類
お好みによりジャム クリームをお付け致します
開花亭パン店
平市五丁目(電三四二)

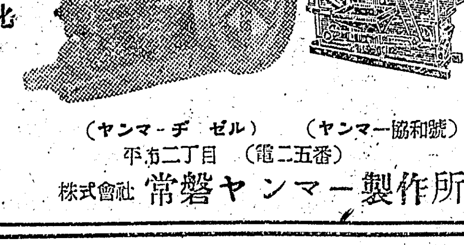
外科
整形外科 皮膚科 泌尿器科 放射線科
松村醫院外科
平市南町二一(電一〇七)

松村亭

◇住宅分讓
住宅土地付坪一万三千円內外
土地斡旋、即時新築分讓
小口分讓宅地アリ
半額月賦ニ應ズ
平市才づち小路踏切際電六一番
色川建設部

文化式
平デザイナー洋裁
平市紺屋町(マルマン)

最高能度を誇る
新星の醫藥品
局方ブドウ糖
局方サルチル酸ソーダ
ザルソブロカ糖(注)
ブドウ糖(注)
其の他各種
新星藥品工業株式會社
平市大町電353・668

農機界の王者
大臣賞受領
船舶用のヂーゼル化
農村機械化の相談所

(ヤンマーヂーゼル)　(ヤンマー協和號)
平市二丁目(電二五番)
株式會社 常磐ヤンマー製作所